![C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf]()園長だより　平成２８年３月号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　園長　平澤　正則

３月に想うこと

あと２日で卒園式，焦ってこれを書いています。忘れ物はないかと酔いが覚めた頭でボーっとしていたら，思い出したのです。そうなると，何が言いたいというほどのものはないのですが，書かなければ，出さなければと，いつものように焦るわけです。

卒業，卒園にかかわって４０年が経ちました。自分で担任していた頃は毎日が格闘の連続でしたから，子どもたちとの最後の別れをじっくりと味わうなどといえる状態にはなかなかなれませんでした。正確にいえば，私の性格ではなかなかそれができなかったということだったかもしません。じっくりと，丁寧に子ども一人一人と向き合って日々を過ごすということよりも，毎日の日課や授業や係活動がどうしたの，当番活動がどうしたの，部活がどうしたのと，どうしたのということばっかりで毎日が矢のように過ぎました。彼らが言いたかったこと，聴いて欲しかったこと，知って欲しいと願ったことなどとは向き合うこともたいしてできずに，そしてそれに言い訳をしながらやってきてしまったし，そうしなければ・・・とまた言い訳が出てくるわけですが・・・。だから，こうしなければ！などときれいごとを今更言う気にもなりません。子どもたちの未来を明るく元気づけ，送り出さなければならないはずですが，私の心中は毎年晴れ晴れとしたことはありません。かといって，曇っているわけではないのですが，まあ，複雑な思いが毎年よみがえり，また追加されている，という感じです。何を言っているのかわからなくなってきたでしょうが，酔いのせいではないとだけ言っておきます。

　そういえば，給食についてある方から，『近い将来の値上げはあるのですか。』と尋ねられました。４月からは１食３１０円程度ですから，単純に計算すれば月々６，０００円以上の費用が要りますが，新制度には給食への補助が含まれていますので，保護者の負担は今まで通りでもやっていけるとふんでいるわけです。ただ，それはあくまでもこの制度が継続・維持された場合は可能だということであり，将来「消費税が上がらず財源が確保できないので，認定こども園への援助は減額します。」などと政府がいってきた場合は，私たちも何らかの対応に迫られるかもしれないということです。給食を週4回にして，1日は弁当の日にするなども選択肢の1つといえるかもしれません。などと，私が今言うと，これまた心配する方もいるかもしれませんが，あくまで先々の可能性のことです。

　なにか事があった後に「想定外のことでした。」などと言い逃れる風潮が近年はあります。その知識がある人にはその知識に比例して様々な可能性が思い浮かぶはずなのに・・・。せめて，子どもたちの将来を真剣に考えなくてはならない私たちはこのような言い訳をせずに，子どもたちのすべてを想定内にしながら日々過ごすべきだと思います。そうするとまた，いろいろな可能性が思い浮かんだりして，とりとめのない思考の世界に迷い込み，・・・もう3時に近い。眠らなくては。